

平成とグローバル化

平成が幕を開けて間もなく冷戦が終結、世界は本格的なグローバル化の時代を迎えた。

あれから 30 年、市場経済の拡大、技術の目覚ましい進歩、中国はじめ新興国の台頭。一方で、広がる経済格差と民族・宗教対立、まん延するポピュリズム……。

世界が大きく変わる中で、日本は、そして日本企業はどのように対応を迫られたのか。



マルタ会談 1989年12月2日
(写真：dpa/時事通信フォト)

イラク戦争 (03)

米同時多発テロ
(2001)

出生数が
死亡数を
初めて下回る
H17
(2005)

ユーロ導入 (99)

アジア通貨危機 (97)

長銀・日債銀破たん H10(98)

湾岸戦争 (91)

阪神・淡路大震災
地下鉄サリン事件
Windows95 日本語版
発売 H7(95)

冷戦終結 (89)

平成と改元、消費税導入
東証で日経平均最高値 H元(1989)



新元号を発表する小淵官房長官(当時) 1989年1月7日
(写真：時事)

新元号 H31 (19)



トランプ政権発足 (17)

英国国民投票で EU 離脱決定 (16)

訪日外国人
3千万人突破 H30(18)

「イスラム国」が勢力拡大 (14)

熊本地震 H28(16)

北京五輪
リーマンショック
(08)

尖閣諸島国有化 H24(12)

東日本大震災 H23(11)

民主党政権発足 H21(09)

iPhone 発表 H19(07) 日本発売 H20(08)



iPhone を発表するスティーブ・ジョブズ氏
(写真：AFP =時事)



東京スカイツリーをバックに記念撮影する
外国人旅行者

国 際競争、通商環境、国際治安情勢、デジタル化・IT化、
そして、日本的経営と人のグローバル化に焦点を当て
て考えてみたい。

ともすると「失われた……」と形容されることの多い時代。
果たして本当にそうだったのか。

様 々な変化の中で試行錯誤を繰り返した先に見えてくる
新たな挑戦とは。